

世界遺産の島、西表島へようこそ

2021 年 7 月、西表島はユネスコ世界遺産リストに登録された。208 平方 km の西表島は、奄美大島、徳之島、沖縄本島北部を含む自然遺産の合計 427 平方 km の面積の半分弱ほどである。4 つの島は、琉球列島の一部で、本州の南西部から台湾近くまで伸びている。数百万年前にこの島々はユーラシア大陸から分離したため、生物は独自の進化を遂げてきた。世界遺産として選ばれた理由としてユネスコは、生物多様性が高い地域であり、固有の動植物の多さ、そして世界的に絶滅の危機に瀕している割合も高いことを挙げている。この島々は、日本の国土面積の 0.5%しかないが、日本の動植物の割合を多く占めている。

西表島は沖縄県で 2 番目に大きな島で、130km にも伸びる海岸線はサンゴ礁に囲まれている。島の 9 割はジャングルやマングローブ林で覆われている。西表島は日本のマングローブ林の 7 割を占めていて、仲間川の河畔には日本最大のものもある。島を代表する種で、近絶滅種と指定されているのがイリオモテヤマネコであり、島に 100 匹ほど生息しているとされている。その他には手足を箱のように甲羅に入れる絶滅危惧種のリクガメ、ヤエヤマセマルハコガメや、中型の猛禽類のカムリワシ等もいる。